

第3種 寿都漁港 (北海道寿都町)

寿都地域マリンビジョン策定(モデル地域)

すっつ 寿都地区特定漁港漁場整備事業計画

寿都島牧圏域
流通拠点



現状と課題

- ・ホタテガイ・カキ養殖漁業に必要な用地が不足しており、非効率な作業が行われている。また、野天での陸揚げ・出荷作業のため、鳥糞などの混入や直射日光などによる品質低下が生じている。
- ・寿都島牧圏域の流通拠点漁港であるものの、耐震性能が強化された岸壁がないため、大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止するおそれがある。

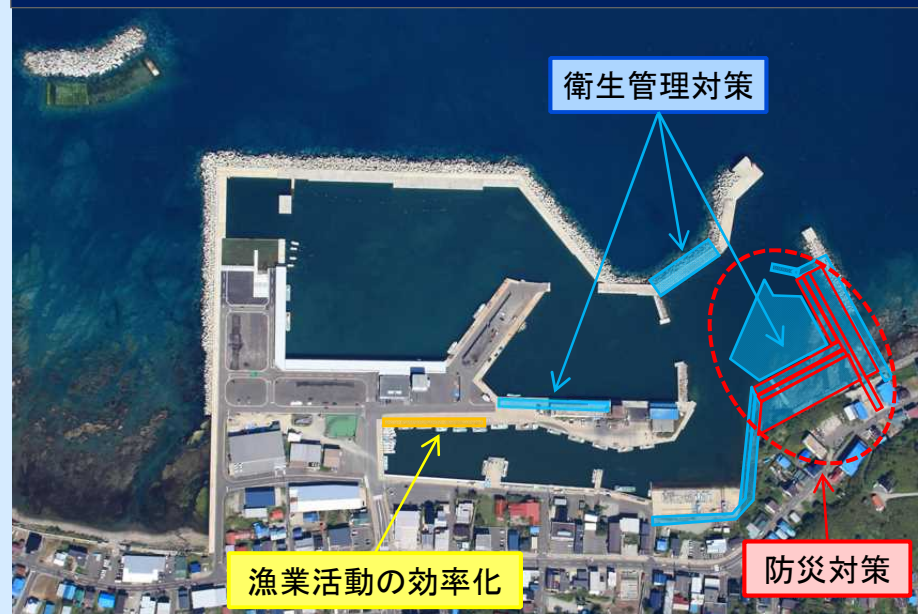
港勢 (H27港勢調査)

登録漁船: 78隻
利用漁船: 98隻
(内、外来漁船: 32隻)
属地陸揚量: 1,482トン
属地陸揚金額: 6.6億円
主な魚種: スルメイカ、ホッケ
組合員数: 63人

◎寿都漁港の役割

- ・ホッケ底建網等の沿岸漁業及びホタテガイ養殖漁業の生産拠点
- ・周辺漁港から水産物が集約される流通拠点

主要対策



主な整備方針

- ・ホタテガイ・カキ養殖漁業の陸揚げ、出荷作業時における衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁、用地などを整備する。また、港内静穏度の向上を図るため、防波堤の嵩上げ改良を行う。
- ・大規模災害発生後の水産業の早期再開のため、耐震性能を強化した岸壁を整備するとともに、岸壁に接続する道路・用地の液状化対策を行う。
- ・物揚場における作業の安全性及び効率性の向上を図るため、エプロン勾配を緩和する改良を行う。

基本事項

全体事業費: 37.3億円
事業期間: H29~H38

主要な対策①: 衛生管理対策



野天での陸揚げ・選別・出荷作業状況



漁港外での網外し・選別作業状況

主要な対策②: 防災対策



漁船を使用した避難訓練状況(イメージ)



緊急物資輸送状況(イメージ)